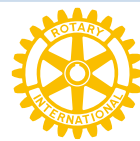


国際ロータリー第2660地区

# 吹田西ロータリークラブ

ウィークリー  
2016-2017

Rotary



■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階  
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020  
URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急REIホテル  
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00

役員 会長：井伊圭一郎 幹事：長屋 興 会報委員長：木田 昌宏



人類に奉仕するロータリー

4つのテスト ●真実かどうか ●みんなに公平か ●好意と友情を深めるか ●みんなのためになるかどうか

1635回 例会 平成28年10月29日

移動例会

於 吹田千里サッカースタジアム

今週の歌

「手に手つないで」

先週内容

次

会長挨拶

井伊会長



皆様今晚は、秋もすでに深く、冷気を感じるこの季節でございます。

本日はガバナー公式訪問日です。国際ロータリー第2660地区ガバナー松本進也様、本日はお忙しい中ようこそお越し頂きました。後ほど卓話よろしくお願ひ申し上げます。

また、地区幹事の井上寛基さんがお越しになっています。最後までよろしくお願ひ致します。

10月の第1例会では水島ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会でした。クラブ奉仕・職業奉仕・青少年奉仕からのご質問に丁寧なご回答頂きました。

本日は4時50分からメイプルルームに於いて、松本ガバナーを迎えての懇談会が行われました。様々など指導ありがとうございました。ご指導を集約させていただき、これからの吹田西ロータリー

経済と地域社会の発展月間／米山月間

次週 1636回 例会予告平成28年11月7日

卓話

米山奨学会について

西村委員長

クラブの活動に反映させていただきます。

本日は2016～2017年度第2660地区の具体的目標のひとつであるポリオ撲滅について少しお話しします。ロータリーは1979年にフィリピンの子供たちにポリオ予防接種をはじめて以来、パートナー団体と共に懸命に活動を続け全世界でポリオ発症数を99.9パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。

しかし撲滅を完全に成し遂げるには、皆さまからの支援が欠かせないと報告されています。わずかな時間でも長時間を費やしての支援でも世界でポリオを撲滅して、子供たちを一生ポリオから守るために、一人、ひとりにできることを実行することが大切です。

ロータリアンはこれまで122か国、20億人以上の子供たちへのポリオ予防接種を支援してきました。わずか60円ほどのワクチンで一人の子供を生涯、ポリオから守ることができます。

ポリオプラス基金へのご寄付はポール・ハリス・ソサエティの認証対象となります。

我々のクラブで予算案の中で支援を行っています。本年度の松本進也ガバナーの2016年～2017年度の寄付等の年間目標は1名あたり60ドルとなっています。

この数年はポリオ撲滅に50ドルの流れでしたがロータリー財団100周年の記念すべき年に当たりRI会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。





られていると感じた次第であります。

### 【記憶により残る方法】

2008年の会長エレクトセミナー時に戸田パストガバナーから「記憶に留めるより良い方法」として「聞いただけでは20%、見ただけでは30%の理解が、見て聞いた結果は50%になる」と講義を受けました。

ご講義の中で「知識や概念を出来るだけ多く記憶に留まるよう助長するために、情報の提供方法を考慮しなければならない」という教えが大変印象的でありましたので、当方も今後、補助手段として紙媒体を使用いたします。

本日の内容は、貴クラブの活動計画書や週報にてご覧頂きますようお願いいたします。

### 【2016-17年度 第2660地区ガバナー方針】

さて、先程申しましたRI会長テーマを受け、第2660地区2016-17年度ガバナー方針を“The Ideal of service”—ロータリーの根幹精神—と決めました。

当該方針はロータリーの目的（以前は綱領と呼称）の第三項にも記載されています。

1920年、東京に我が国最初のロータリークラブを設立した米山梅吉氏は、“The Ideal of service”の日本語訳の際、「奉仕の理念」ではなく、敢えて「サービスの理念」とされました。

日本語の「奉仕」は自己犠牲の意味合いがあまりにも強く、“service”の本来の意味と合致しないからです。日本のロータリークラブの祖である米山氏の意を汲み、当方も原語をガバナー方針に採用した次第です。

この「奉仕」と“service”の違いにつきまして、図にてご説明いたします。

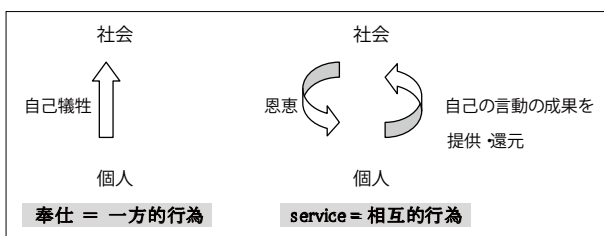
\*奉仕 = 一方的行為

矢印は個人から社会への一方向のみで、日本語では自己犠牲の意味合いが大きいです。

\*service = 相互的行為

矢印は個人と社会を循環しています。

個人から社会へは「自己の成果を提供・還元」し、結果、社会から個人へ「恩恵」が供給されます。



この図式をロータリー活動の際、常に当てはめて考えて頂きます様、周知をお願い申し上げます。



### 【2016-17年度 第2660地区具体的目標】

2016-17年度の第2660地区における具体的目標を次の5項目と決めました。

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践
2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進
3. ロータリー財団100周年、ポイア撲滅
4. 戦略計画の推進
5. IM再編成

1. “The Ideal of service”の基本理念の周知と実践  
この基本理念を第2660地区会員全員に周知し、その精神に基づいた地区活動・クラブ活動を推奨いたします。この実践的意味はロータリアンの活動が真に社会に役立つものであり、活動及び成果が継続性を有し、相互的に享受し合えるものである。ということでもあります。

2. ガバナー月信のペーパーレス化によるITの促進  
当方年度より、紙媒体によるガバナー月信を停止し、第2660地区のホームページに掲載し、また、メール配信といたしました。

この移行には三つの利点があります。第一にIT化の促進、第二に地区活動費の充実です。第三に最大の特色として、今まではクラブ毎に一定数購入し、閲覧や配布をしておりましたが、本年度からはネット環境がある全ての皆様のご都合の良い時に随時ご覧頂けるということが挙げられます。

### 3. ロータリー財団 100 周年のお祝い、ポリオ撲滅

今年度はロータリー財団創立 100 周年の記念すべき年であり、RI は我々へ「100 周年のお祝い」を呼び掛けています。お祝いとは所謂お祭りではなく、財団が過去、RI と共に世界で成し遂げた功績を改めて振り返り、財団についての理解・参加・寄付を推進すること。とのことでした。よって、補助金を使った事業の立案や例会で財団関係の卓話をして頂くなど、ご検討頂きたく思います。

また、RI 会長は様々な奉仕活動の中で、特に重要であるのがポリオ撲滅であると評されています。国際協議会で RI 会長によるポリオについての 5 分程度の講演映像がありますので、ご覧ください。(RI 会長講演映像「ポリオ」5 分間)

人類の悲願であるポリオ撲滅が達成されれば、人類史上撲滅された病としては天然痘に続き、2 番目となります。今、善いことをすれば、後世により良い世界を遺すことができます。皆様のご理解をお願いします。

### 4. ロータリー戦略計画の推進

今年度も引き続き、戦略計画を強く推し進めます。戦略計画の三本柱は

- 1) クラブの活性化とサポート
- 2) 人道的奉仕の重点化と増加
- 3) 公共イメージと認知度の向上 であります。

戦略計画は「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」の 5 つの観点を軸としています。先程の 3 本柱にはそれぞれゾーンごとに担当制であり、本年度、当地区からは 3 人の方が選抜されました。

まず、横山 P G はロータリー公共イメージコーディネーターとして公共イメージと認知度の向上を地区、クラブに浸透する役割を担われます。



次に、高島 P G はロータリーコーディネーター補佐として、「クラブの活性化とサポート」を、溝畑学友委員長はロータリー財団地域コーディネーター補佐として、第 2 項目の「人道的奉仕の重点化と増加」につき、活動頂きます。RI は戦略計画の推進を奨励事項としております。当地区も更なる推進を目指します。

### 5. IM 再編成

昨年 12 月 5 日の地区大会決議第 8 号にて「IM の在り方を決議する件」が採決され、2018-19 年度の山本 G 年度を目処に、時代にあった IM 再編成やガバナー補佐の選出方法を実行することとなりました。

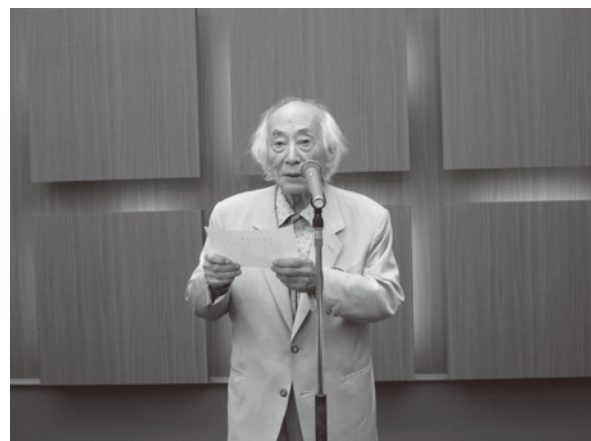
当方年度は準備年度としての役割を果たし、片山 G 年度に継承できるように尽力いたします。両案は 9 月 24 日の地区決議会にて賛成多数により承認されました。

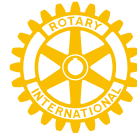
### 【2016-17 年度の年次寄付等年間目標】

当方年度の年次寄付等、年間目標を次のように決めました。

1. 年次寄付	1名あたり \$160	
2. ポリオ撲滅	1名あたり \$60	計\$220
3. ベネファクター	各クラブ1名	
4. 米山奨学金	1名あたり 30,000円	
5. 会員増強	1クラブ純増2名	

まず、年次寄付を 1 名あたり \$160、ポリオ撲滅に 1 名あたり \$60 の計 \$220 とさせていただきます。これは、ロータリー財団 100 周年の記念すべき年にあたり、RI 会長の通達に「過去最高額の寄付の奨励」があり、また、国際協議会講演でもポリオ撲滅の実現を強調されたからです。そして、ベネファクターを各クラブ 1 名 といたしました。





米山奨学委員会では、本年度より「複数世話クラブ制度」を全国に先駆けて実施します。この画期的な制度の推進の原動力となるべく、米山奨学生の寄付目標を直近3年間同様、一人当たり30,000円といたしました。

最後に会員増強を1クラブ、純増2名といたしました。

第2660地区でも会員数の減少が危惧されております。本年度の会員増強はRIが求めている数値は地区全体で3%増であります。よって、本年度第2660地区目標は各クラブ純増2名といたしました。

増強方法の選択肢として、若年層でより経済的負担の掛からない衛星クラブの設立や女性会員の加入があります。

通常の増強に、このような視点を変えた増強方法も候補に入れて、目標純増2名を達成して頂きたく存じます。

## 【2016年規定審議会】

2016年4月10日-15日 シカゴにて、2016年規定審議会が開催されました。

当地区からは横山守雄規定審議会代表議員がご出席され、5月21日の規定審議会報告会にてご報告賜りました。今回の決定事項は入会金や例会頻度等、各クラブへより多くの裁量権と自治権を与えるドラスティックな内容でした。

しかし、ロータリーの目的の第3項であり、当方のガバナー方針でもある“The Ideal of service”、このロータリーの本質は変わっていないことをご承知おき頂きたく存じます。

また、斉藤RI理事より、本年の11月30日からのロータリー研究会にて本件につき、統一見解を出すと承りましたので、ロータリー研究会後、皆様にもご報告いたします。

## 【我々の最終到達点】

また、RI会長はご講演の中で、我々ロータリアンを「ロータリーチーム」と呼びました。

そこで当方は我々を「チーム2660」と呼ぶことといたしました。

先人が築き上げられたこの伝統ある第2660地区を更に飛翔させるのは皆様の力の結集であります。

クラブと地区、学友会との交流による「相互的行為」を皆様自身も常に念頭におかれて、第2660地区3650人が「チーム2660」として一丸となり、

日本34地区を牽引する地区となることを願います。

## 【地区大会PR映像】

それでは最後に12/9-10に行われます、地区大会のPR映像をご覧くださいますが、このPR映像に、当方から一言付け加えさせていただきます。地区大会で祝能を披露頂く、能楽師である当クラブの大槻文蔵会員が7/15、人間国宝に認定されました。このPR映像作成後に認定の一報が入りましたので、僭越ながら申し添えさせていただきました。それでは5分程度となりますので、ご覧ください。

以上を持ちまして、公式訪問の卓話とさせていただきます。

最後になりましたが、貴クラブの更なるご発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

